

こども本の森京都（仮称）整備・運営に関するアンケート 結果報告書

1 調査の概要

(1) 目的

京都市では、建築家の安藤忠雄氏（株式会社安藤忠雄建築研究所）から、元京都市立明倫幼稚園（京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町553）の既存建物の改修工事の寄附を受けて、「こども本の森京都（仮称）」を令和9年度中に開館する予定です。

この度、運営に関する方向性を定める「こども本の森京都（仮称）基本方針（案）」を作成し、地域にお住まいの方、子育て中の方はもとより、お子様自身も含めて、広く市民の皆様のニーズを把握し、基本方針の策定等にいかしていくことを目的に、アンケートを実施しました。

(2) 調査設計

対象	アンケートに回答可能な者
調査方法	・オンラインフォームによる回答 ・アンケート用紙による回答 ※地域の方向け
調査実施期間	令和8年4月6日（月）～令和8年4月24日（金）
備考	報道発表のほか、京都市情報館、子育て支援ポータルサイト「はぐくもKYOTO」、「京都市はぐくみアプリ by 母子モ」等において掲載・配信するとともに、市立小・中・高等学校への教職員向け掲示板への掲示、児童館、保育園、認定こども園、幼稚園、乳幼児親子のつどいの広場等の関係機関にチラシを作成し周知。このほか、地域の方に対しては、自治会を通じた回覧板等により周知。

(3) 回答結果

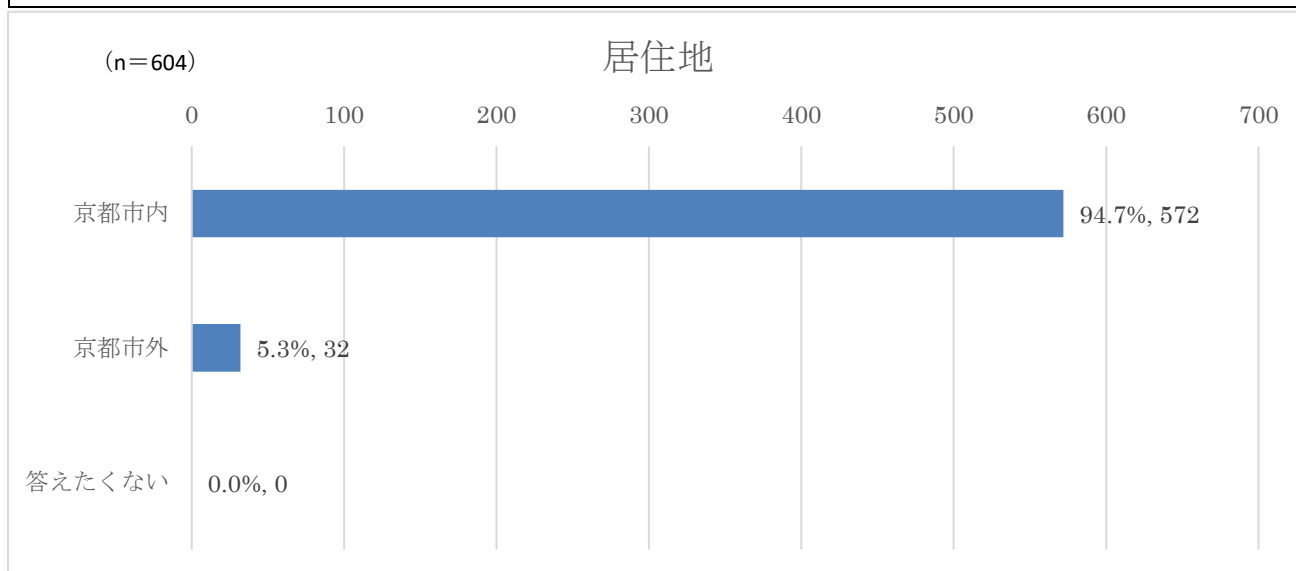
回答方法	回答数	有効回答数	有効回答率
オンラインフォーム	583 件	583 件	100.0%
アンケート用紙	21 件	21 件	100.0%
合計	604 件	604 件	100.0%

(4) 調査結果の見方

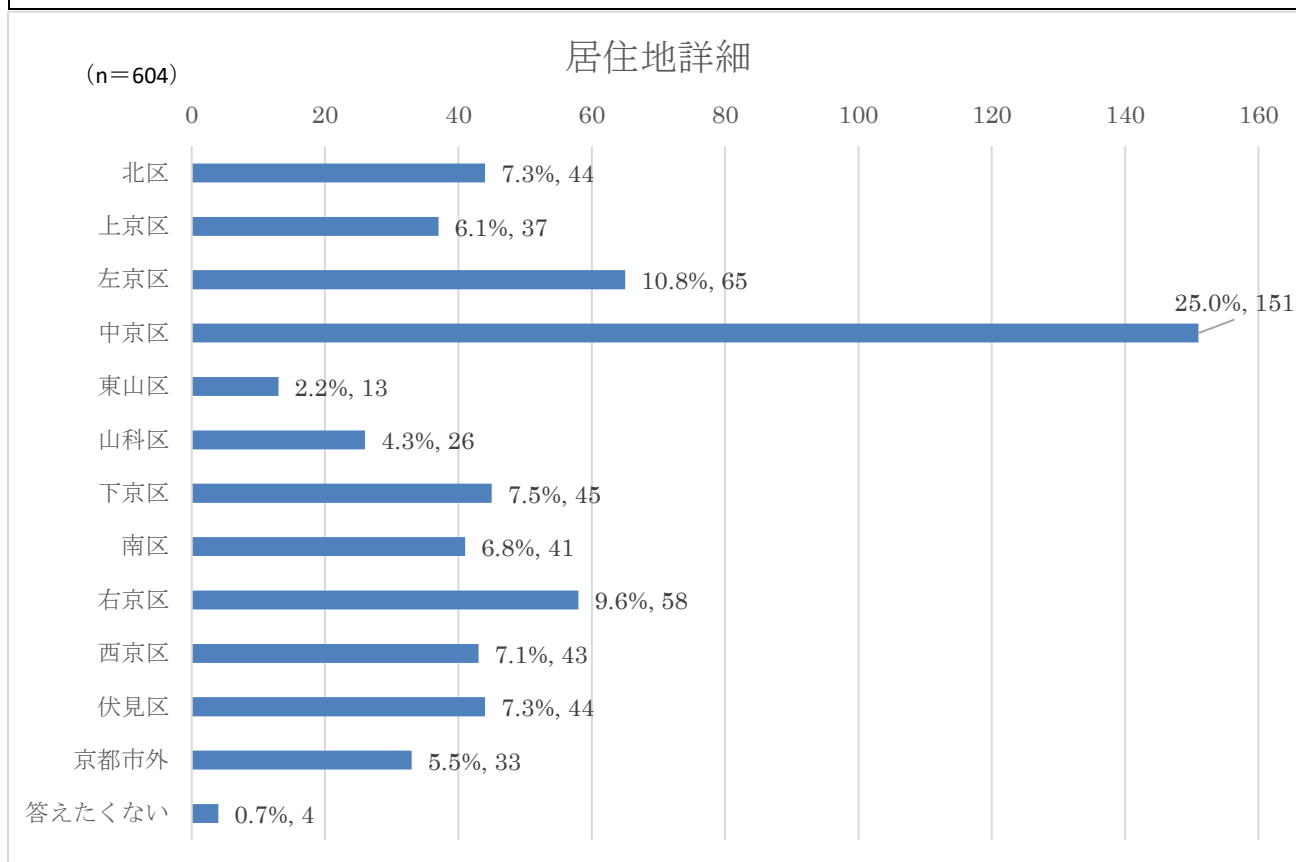
- ・ 図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示します。
- ・ 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。
- ・ 図表中に「MA%」の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問であり、回答比率（%）の計は100.0%を超えます。
- ・ 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。
- ・ 図表のn値が少ない場合、見方には注意が必要です。
- ・ 調査結果中の「寄せられた回答の例」は、基本的に原文のまま掲載しています。

2 調査結果

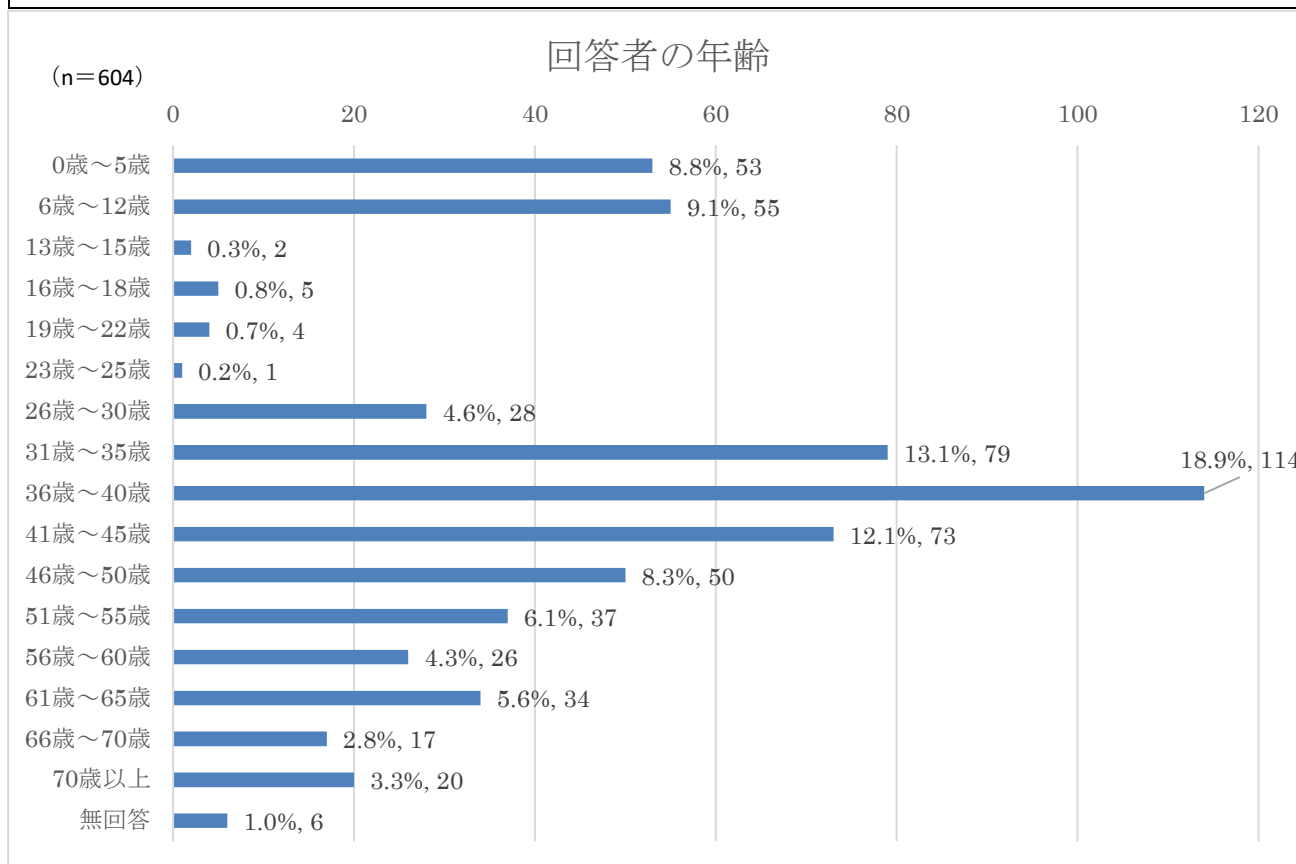
Q1 【回答をされている方についてお伺いします。差し支えない範囲でお答えください。】お住いの地域を教えてください。



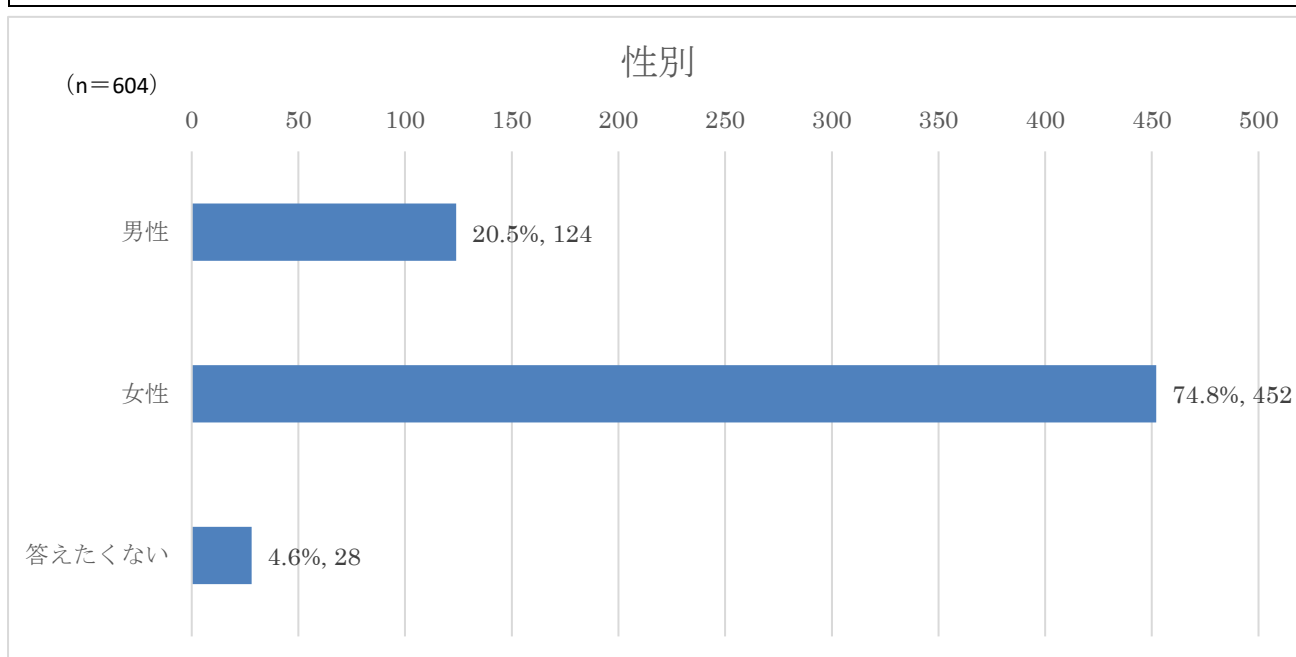
Q2 京都市内にお住いの場合は、お住いの区について教えてください。



Q3 年齢を教えてください。お子様とお話しのうえ、お子さまの意見について回答される場合は、お子様の年齢を教えてください。

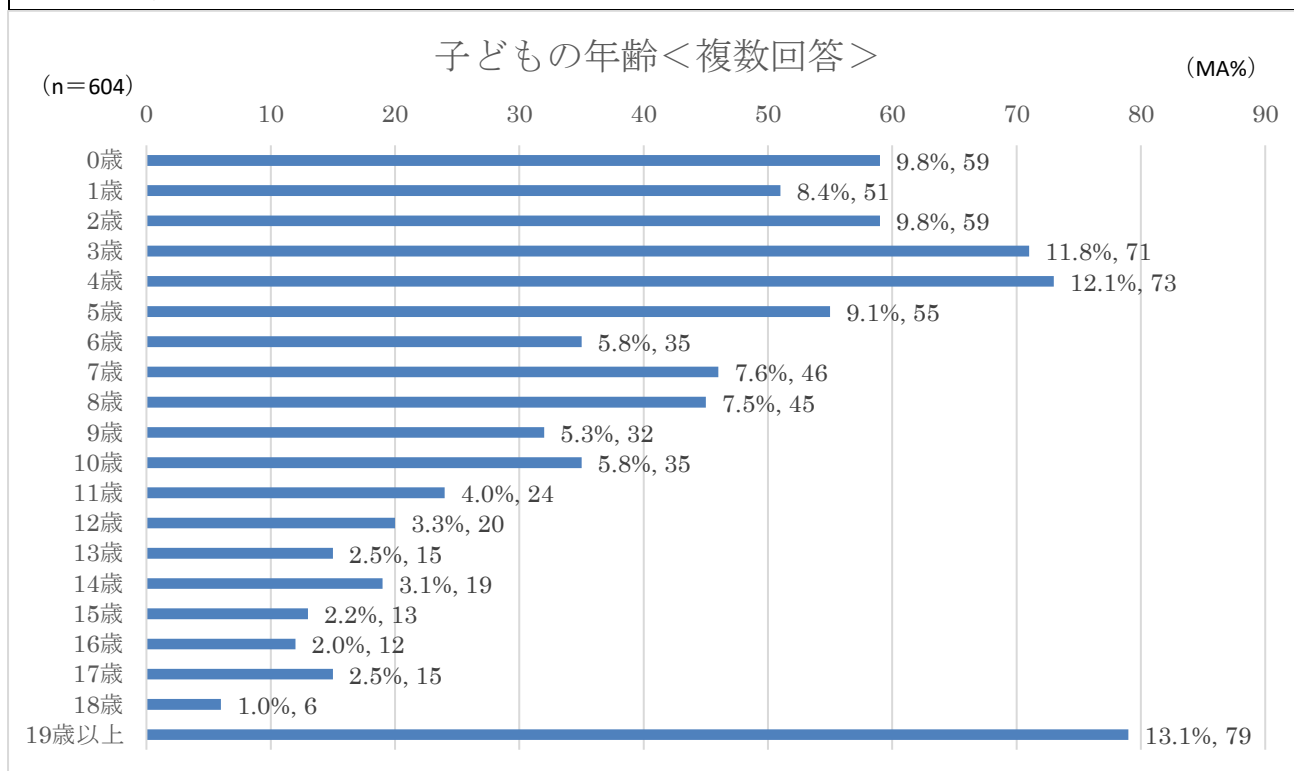


Q4 性別を教えてください。お子様とお話しのうえ、お子さまの意見について回答される場合は、お子様の性別を選択してください。

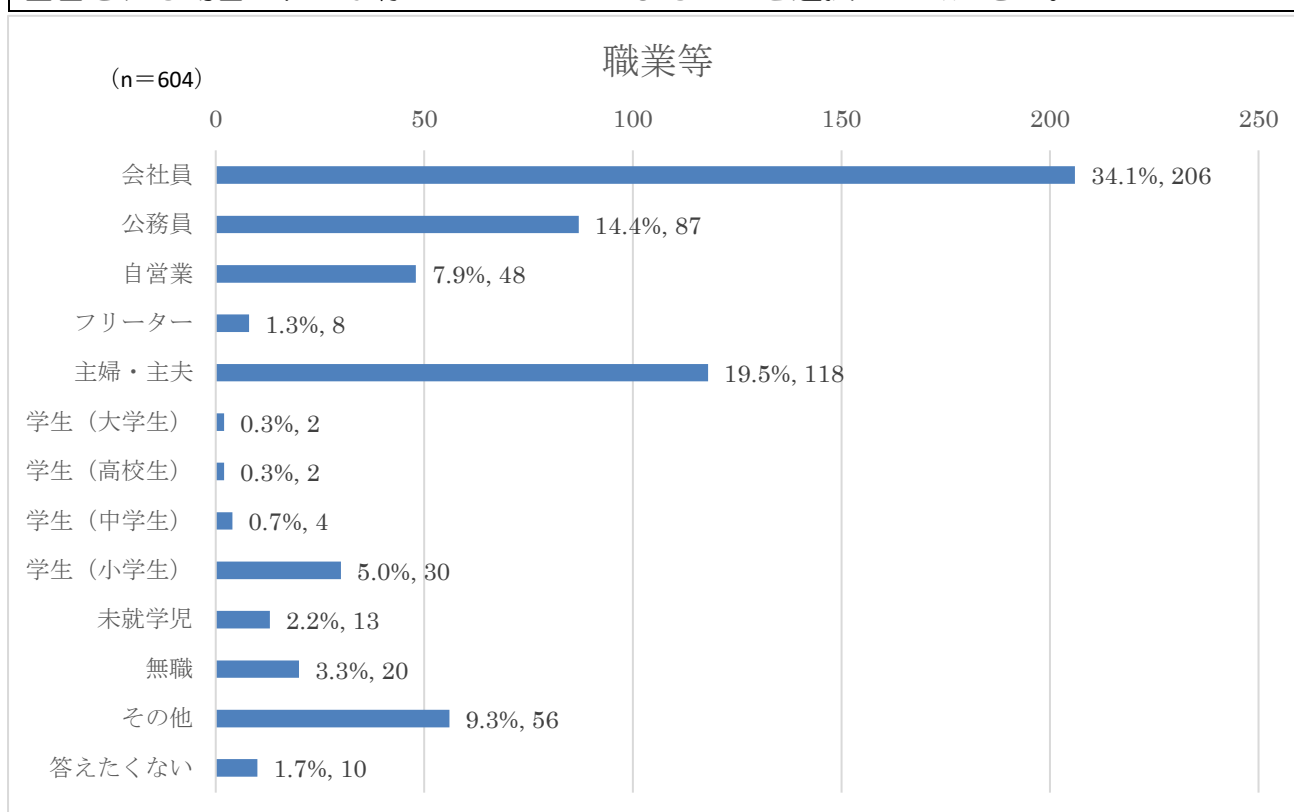


Q5 (保護者の方へ)

お子様の年齢を教えてください。

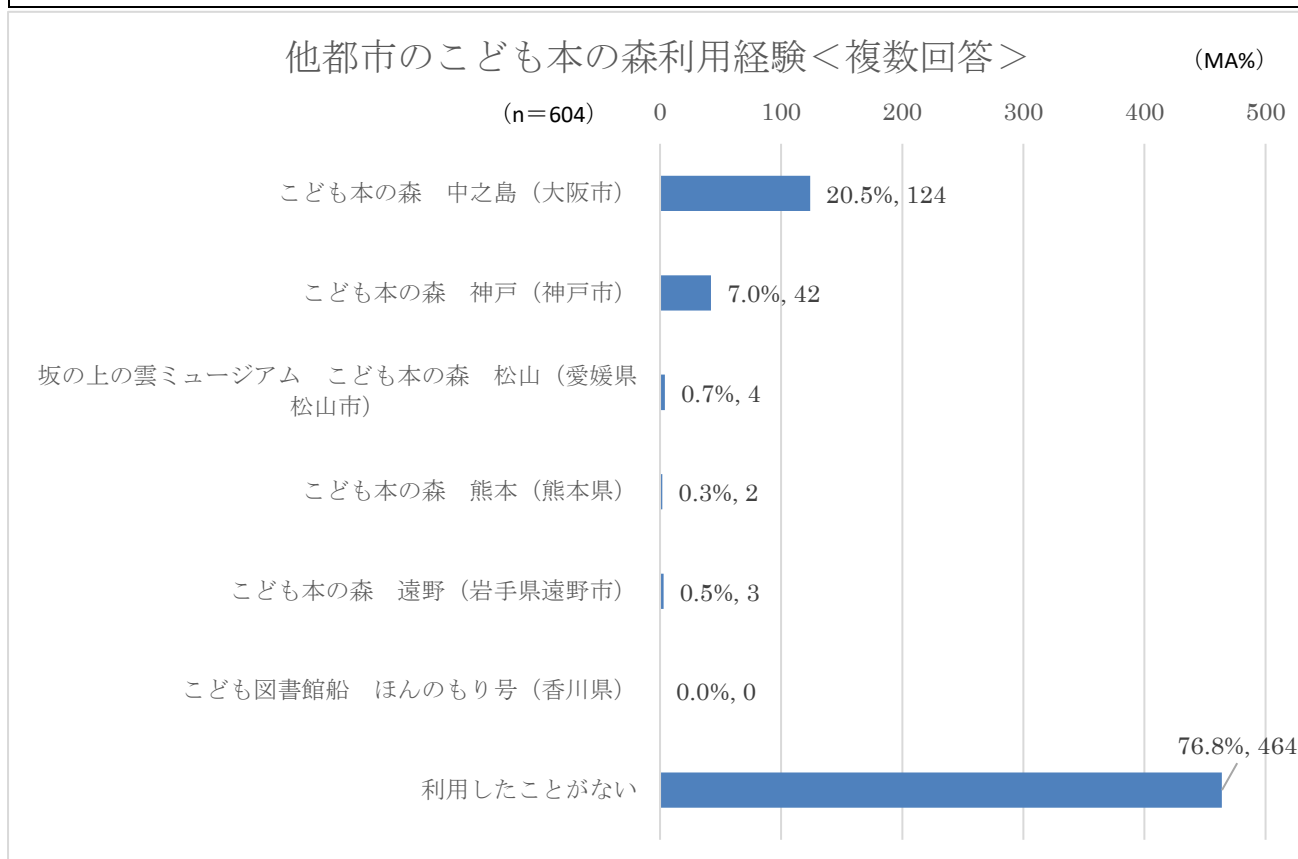


Q6 職業等について教えてください。お子様とお話しのうえ、お子さまの意見について回答される場合は、お子様について当てはまるものを選択してください。



Q7 【他都市の「こども本の森」の利用経験についてお伺いします】

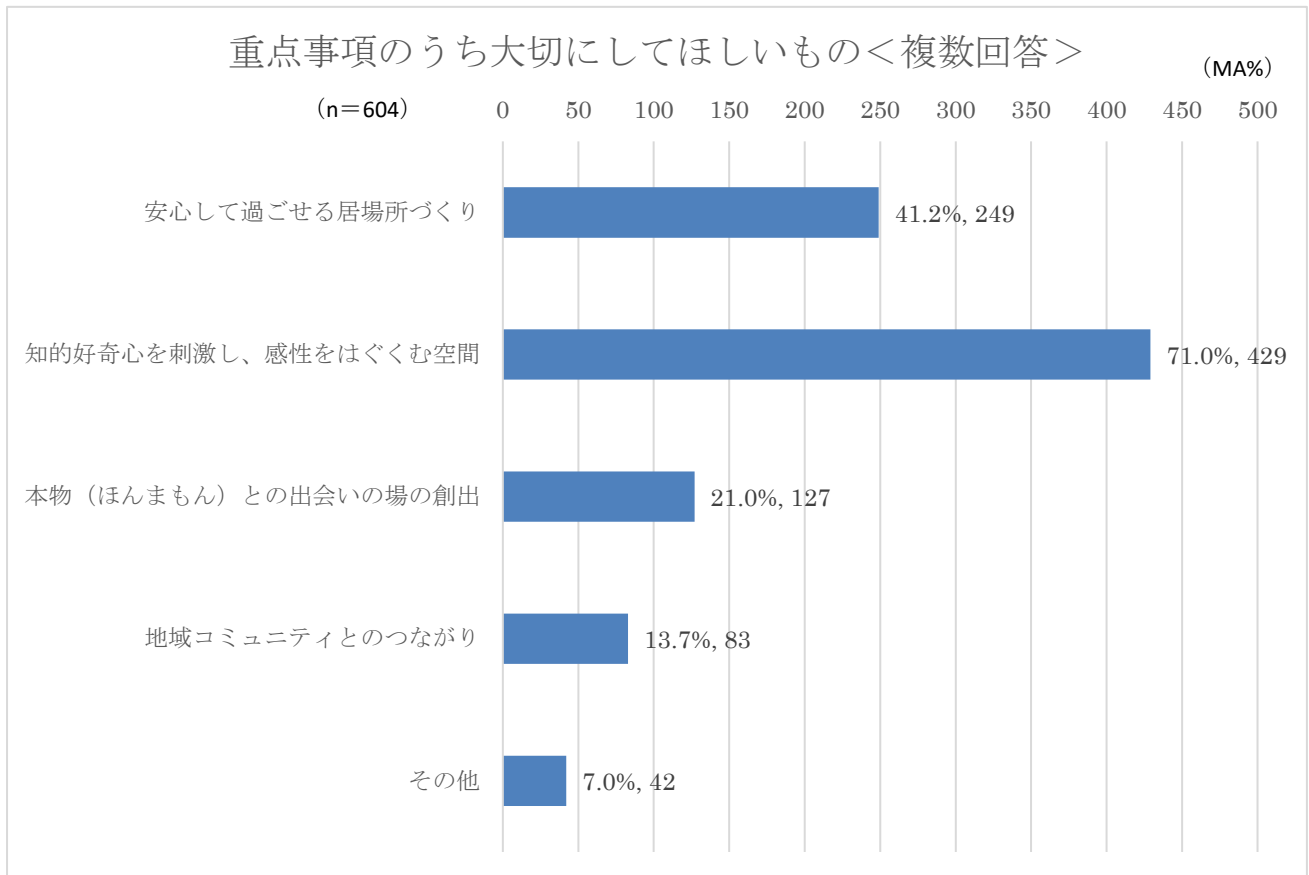
他都市にある「こども本の森」の施設を利用したことはありますか。利用したことがある場合は施設名を、利用したことがない場合は「利用したことがない」を選択してください。



Q8 【「こども本の森京都（仮称）基本方針（案）」についてお伺いします】

方針（案）では、(1)安心して過ごせる居場所づくり、(2)知的好奇心を刺激し、感性をはぐくむ空間、(3)本物（ほんまもん）との出会いの場の創出、(4)地域コミュニティとのつながりを重視し、整備運営に努めることとしています。

これら4つの重視事項のうち、どれを大切にしてほしいですか。



【その他（抜粋）】

●居心地の良い空間と寛容な雰囲気

誰にとっても心理的ハードルが低く、乳幼児の声や行動に対しても寛容で、安心して過ごせる空間を求める意見がありました。

（寄せられた回答の例）

- ・泣いたり走っても怒られない空気
- ・子どもが声を出してもいい空間

●子ども主体の成長とインクルーシブな環境

子どもたちが主体的に学び、遊び、個々の特性やニーズが尊重される環境作りを求める意見がありました。

（寄せられた回答の例）

- ・子どもたちのやりたいことが叶えられる場
- ・障害・特性・背景の違いを越えて誰もが居場所を持てる、見守りやすく、落ち着ける過ごしやすい設計、こどもだけではなく、地域全体が使えるひらかれた場、多世代の共生

●本を通じた知の探求と育成

児童文学や多様な本に触れ、生涯を通じて困難を乗り越える力を育む「本の森」としての機能を重視する意見がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・本の森なので、ジャンルごとにたくさんの本に触れられる空間、ゆっくり本が読める空間を期待します。
- ・子どもの目線（身長）を考えた本のレイアウトと安全性
- ・長い生涯の様々な困難や課題に対して、乗り越える術や解決の手立を自ら見つけることができるようになる意味でも、読書好きな子どもを育てる場であって欲しいです。

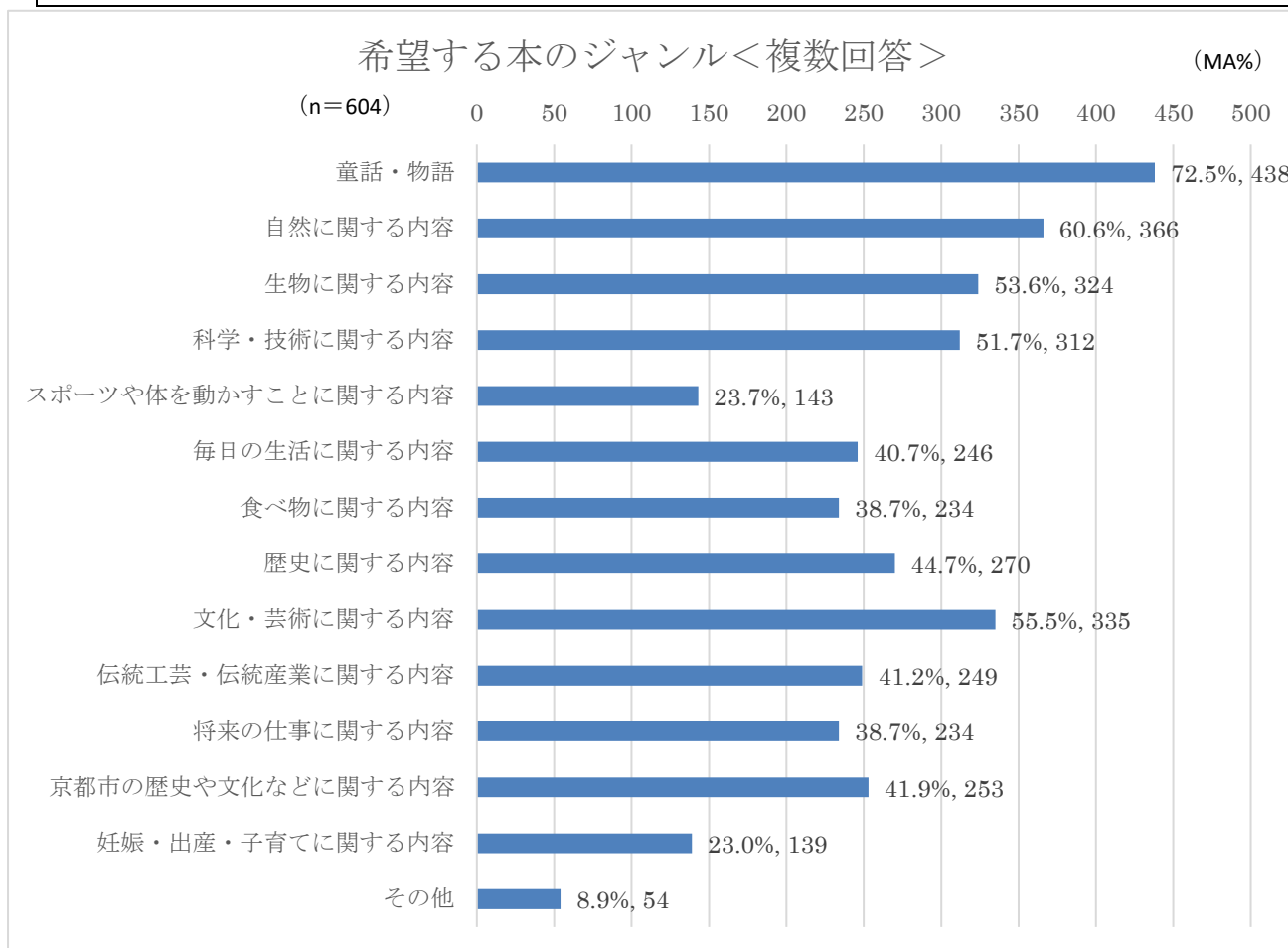
●地域コミュニティの機能と交流の拠点

地域コミュニティの拠点としての機能や地域との交流を重視する意見がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・地域コミュニティ（自治連合会など）のためのスペースを確保してあげてほしいです。
- ・地域住民が会議等に使える場所（会議室）が必要です。

Q9 施設には、絵本や図鑑、写真集など、様々な本を用意する予定です。どのようなジャンルの本があるとよいですか。



【その他（抜粋）】

●多様性と社会課題に関する図書

多様な社会や福祉、現代的な課題に対して理解を深めるための図書についての回答がありました。
 (寄せられた回答の例)

- ・多様性が自然と理解できる選書
- ・バリアフリー図書、福祉

●外国の言葉や文化に関する図書

グローバルな視点や外国語学習、異文化理解を促進するための図書についての回答がありました。
 (寄せられた回答の例)

- ・外国の絵本
- ・海外の言葉の本

●地域の文化に関する図書

祇園祭をはじめとする地域の文化を学ぶことができる図書についての回答がありました。
 (寄せられた回答の例)

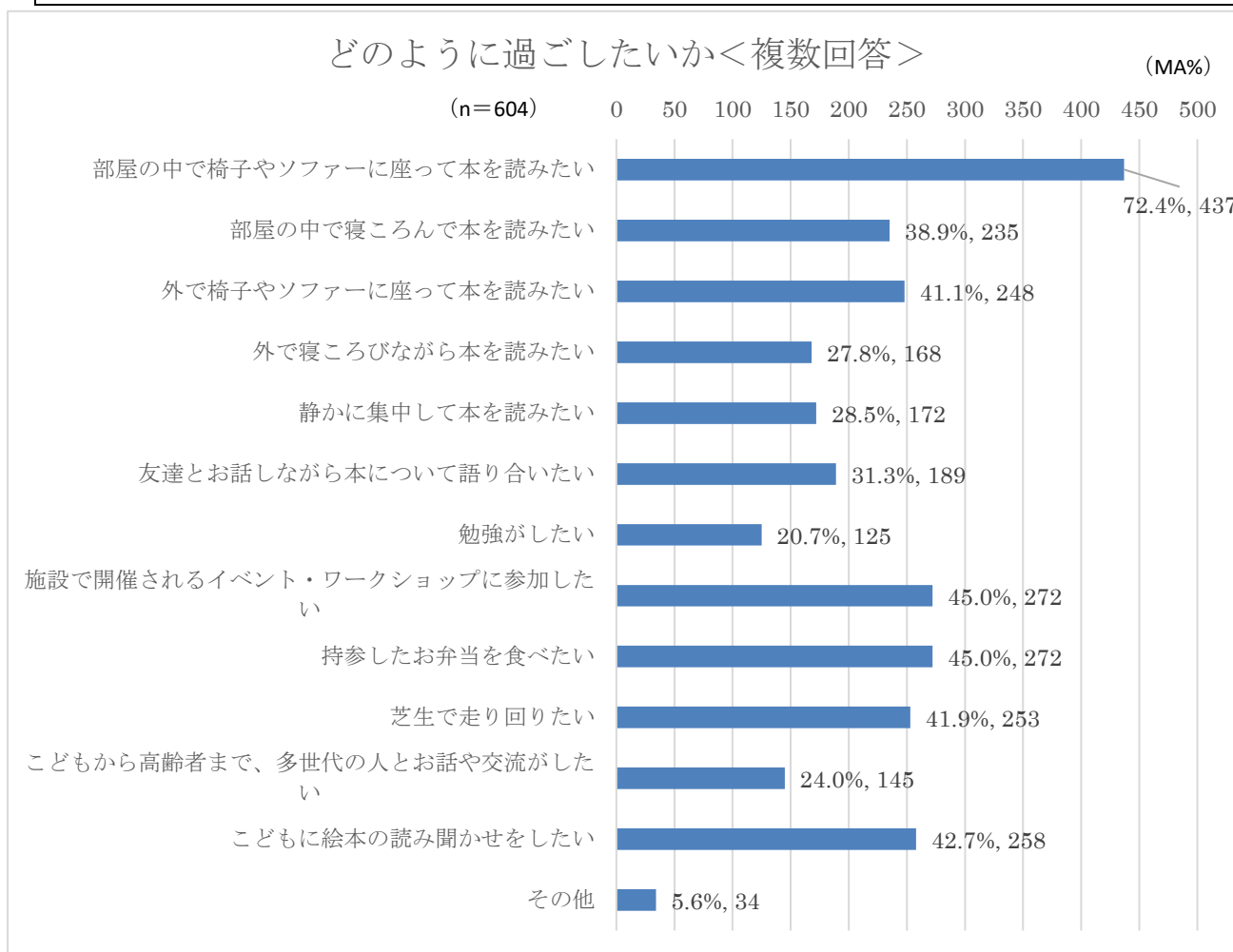
- ・祇園祭の場所なので特に祇園祭について

●多様な方が楽しめる図書

乳児から大人まで楽しめる図書についての回答がありました。
 (寄せられた回答の例)

- ・乳児から大人まで親しめる絵本をたくさん置いてほしいです。

Q10 施設内では、どのように過ごしたいですか。



【その他（抜粋）】

●子どもの遊び場と安全な居場所の整備

子どもが安心して過ごせる物理的なスペースや、運動・遊びを目的とした環境整備に関する回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- まだ歩けない乳児でも寝ころばせられるスペースが欲しい。
- 子どもが遊べるスペース、おもちゃがあると、雨の日や暑い日の居場所が増えて助かります

●飲食・休憩スペースの整備

飲食をしたり、大人もリラックスできる空間を設けることに関する回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- 芝生でコーヒーが飲みたい
- 子どもに絵本を読みきかせしてもらってる間に、自分の興味ある本を読みたい。大人もゆっくり本が読みたい。

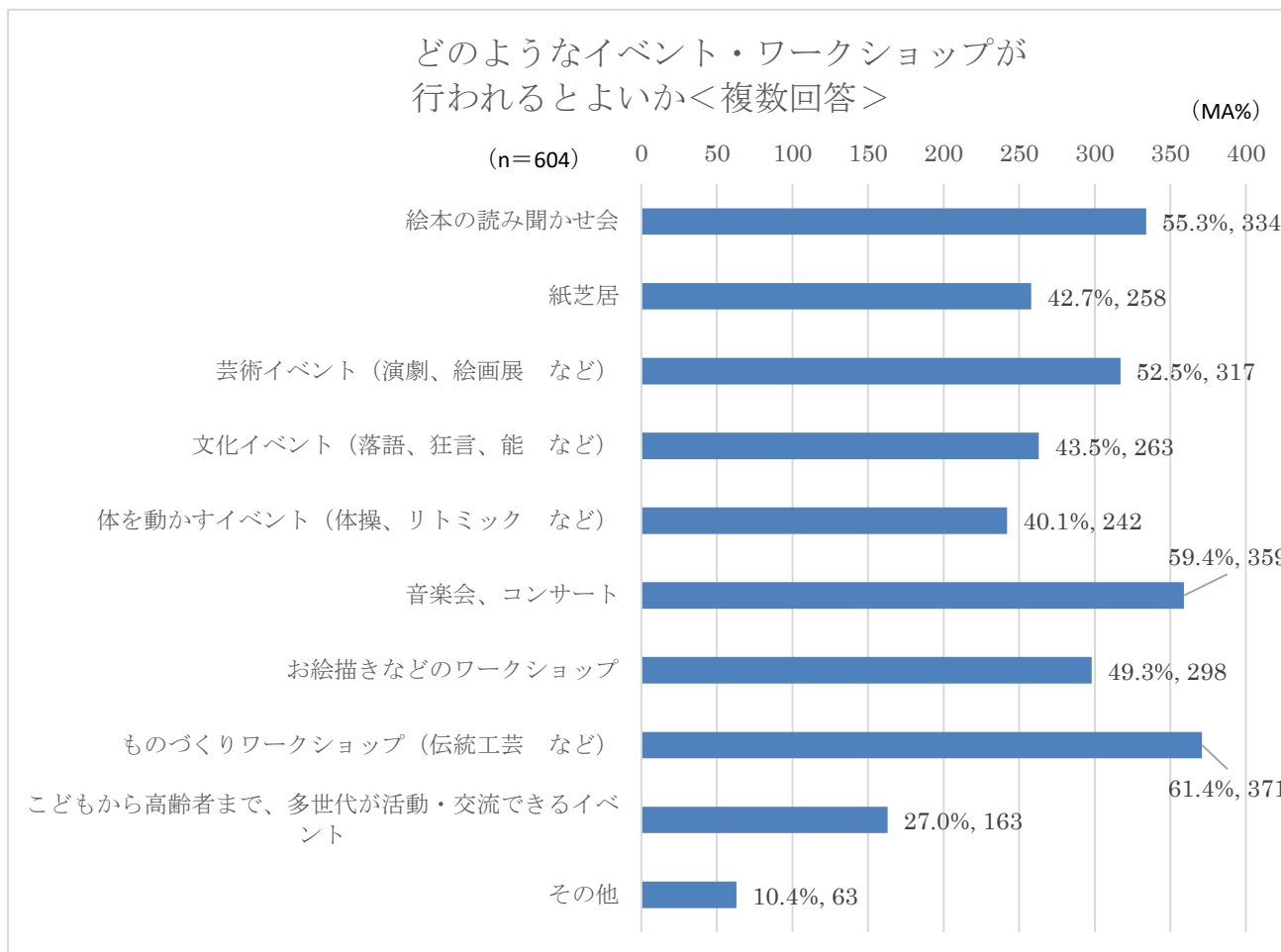
●多様な活用・コミュニケーションができる開放的な空間

静かな読書だけでなく、声を出しても良い環境やイベント、交流に関する回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- 声を出してもよい図書館にしてほしい
- おすすめの本の交換会をしたい。隠し部屋で本を読みたい。

Q11 施設では、地域や京都芸術センター等とつながりながら、特色ある行事・展示など、子ども向け、大人向け、子ども・大人向けのイベント・ワークショップを実施します。
 どのようなイベント・ワークショップが行われるとよいですか。



【その他 (抜粋)】

●創作活動・作家との交流

絵本や工作、表現活動など、クリエイティブな体験を通じて創造力を育む機会に関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・作家や編集者など、絵本や児童書の作り手を招いての講演会やワークショップ、原画展／絵本や児童書に関わる活動をしている大人向けの講座や勉強会
- ・陶芸教室、絵本づくり

●学びとスキルアップ (専門教育)

防災や性教育、科学など、社会生活を送る上で必要な知識を、専門家と共に楽しく学べる環境に関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・就学前児童～高校生くらいまでを対象にしたプライベートゾーンの話から始まる適切な年齢層別

性教育ワークショップ

- ・災害の時の知識や、技術についてのワークショップ

●地域文化・伝統と継承

土地柄を活かした食文化や歴史体験、伝統行事を通じて、地域への愛着を育むことに関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・祇園祭関連（お囃子、縄がらみ等）のワークショップ
- ・京都ならではの、ちまき作りや、すぐきなどのお漬物のお話やお漬物の漬け方を体験し学ぶ

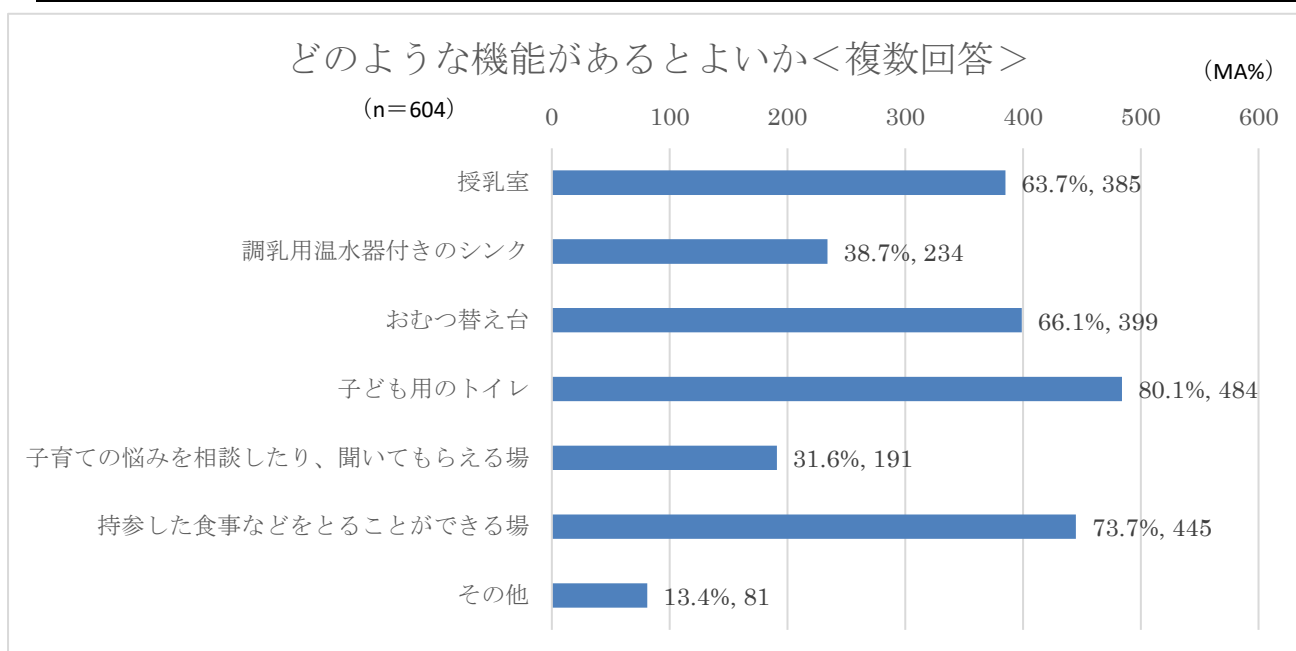
●交流拠点・コミュニティ形成

多世代や多様な人々が集まり、互いにつながりを持てる開かれた場づくりに関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・おしゃべりカフェ（高齢者・子育て世代の交流）
- ・個人で活動されているママさんのワークショップを開催できるようにしてほしい。活動資金がない個人も開けられる合同のイベント、年齢に合わせた本の選び方の相談会

Q12 施設の機能として、どのようなものがあればよいですか。



【その他】

●飲食スペース等

飲食できるスペースや離乳食の温めなどに関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・自由に飲食できるところ
- ・離乳食を温められる電子レンジ

●子育て支援設備・子どもの遊び場

オムツ替えや更衣スペース、安心して子どもを遊ばせられる場所に関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・授乳室のソファは、1人掛け用の肘掛けのある椅子でなくてあぐらをかけるサイズのソファが良いです。(母乳育児では肘掛けが邪魔なのです。)
- ・立ったまま着替えたり、オムツが替えられる着替え台。屋根のある駐輪場。

●多機能トイレ・インクルーシブ対応

多様な利用者に配慮した設備に関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・多目的トイレ、ユニバーサルシート
- ・安心安全なトイレ、多様な人が使いやすいトイレ

●駐車場・駐輪場

自動車や自転車での来訪がしやすい環境整備に関する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・駐車場、駐輪場、ベビーカーを置ける場所、コインロッカー(クローク)
- ・見たい本の検索機械

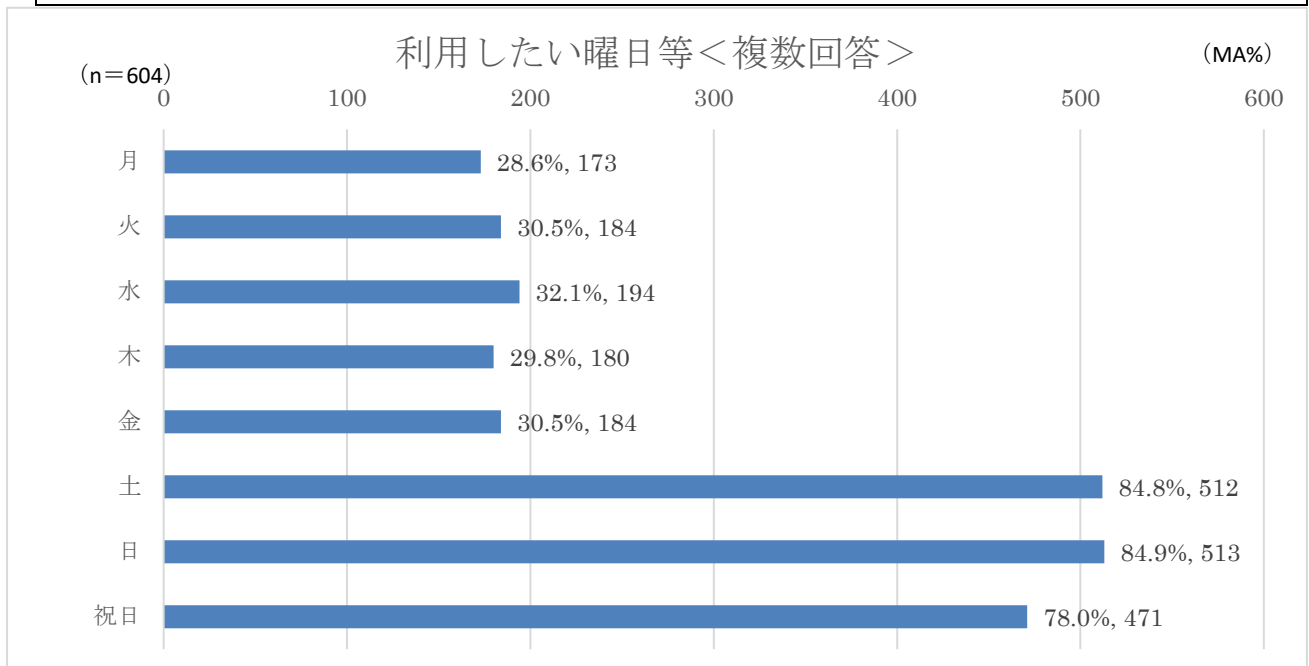
●地域の活動・多様な利用者への対応

地域の活動や多世代の様々な方を想定した設備に関する回答がありました。

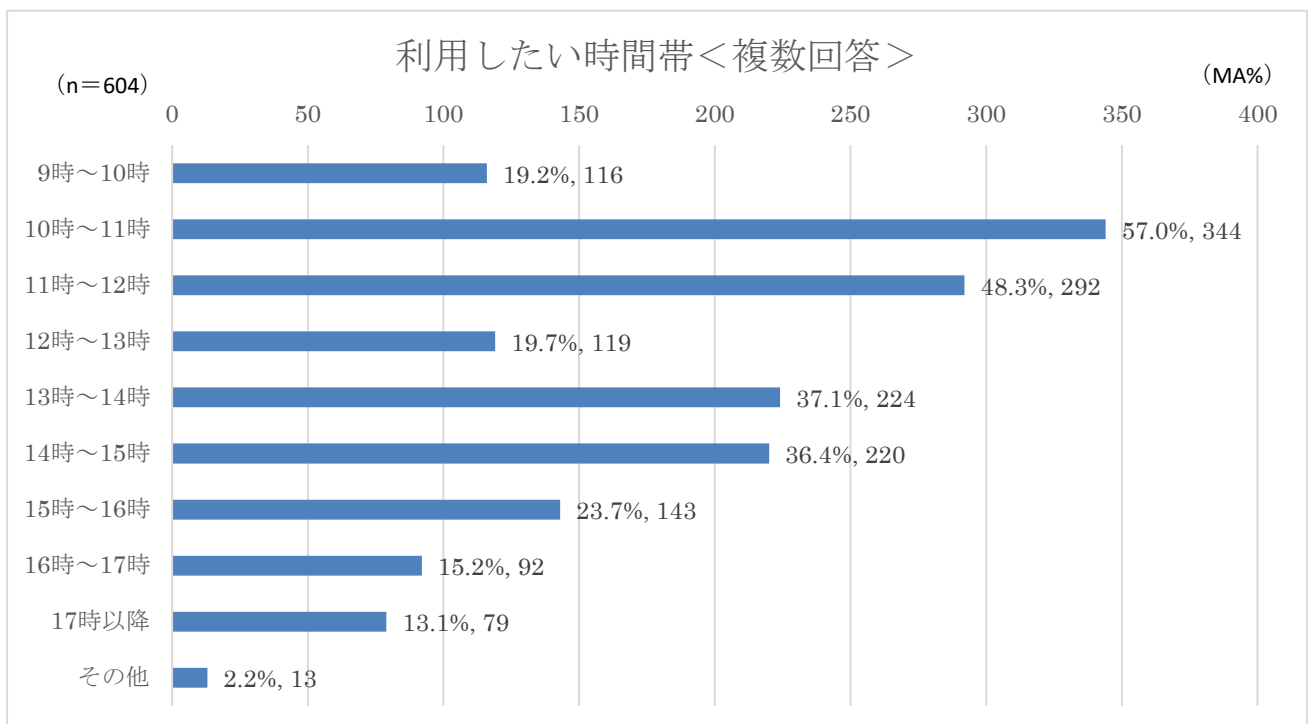
(寄せられた回答の例)

- ・自治会・サークル・地域活動に使える多目的室、イベント運営に必要な収納場所・備品(机・椅子・音響など)、感覚過敏に配慮した照明・音環境
- ・高齢者や障害のある方も過ごしやすいスペース

Q13 施設を利用したい曜日等はいつですか。



Q14 施設を利用したい時間帯はいつですか。3個まで選択してください。



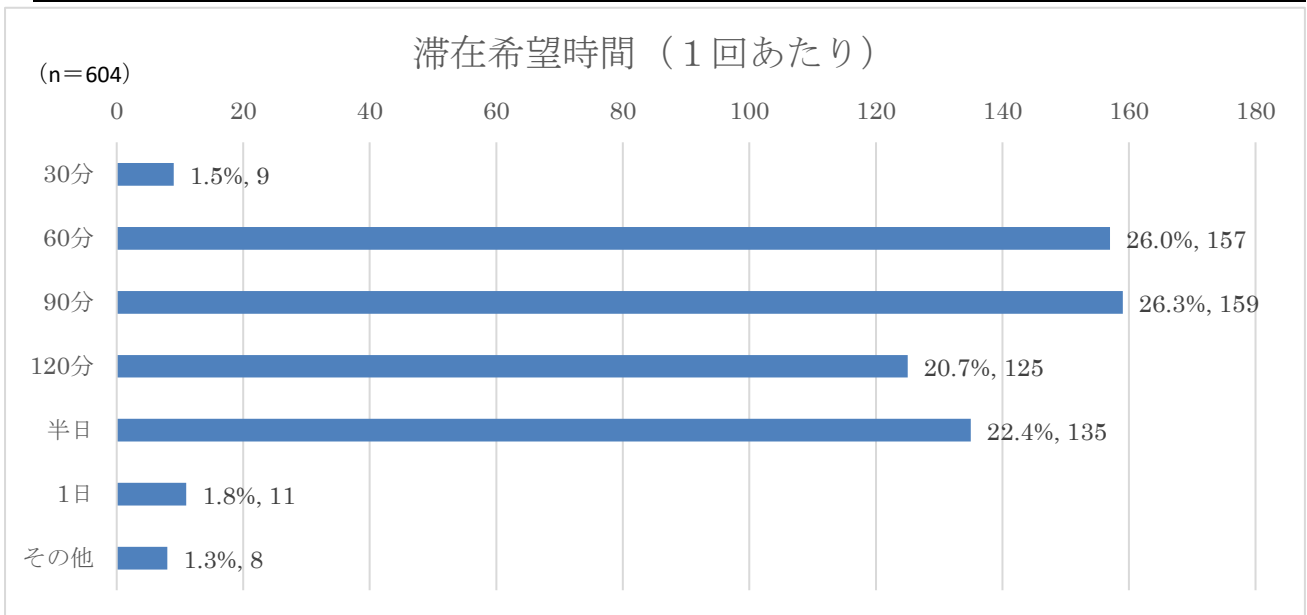
【その他（抜粋）】

長時間の利用や学校の時間と関連した回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- ・朝から日が暮れるまで
- ・学校があるときはその時間帯は行けないので放課後に行きたい。長期休みの間は朝はやくから行けると嬉しい。

Q15 1回の利用で、施設にどのくらいの時間滞在したいですか。



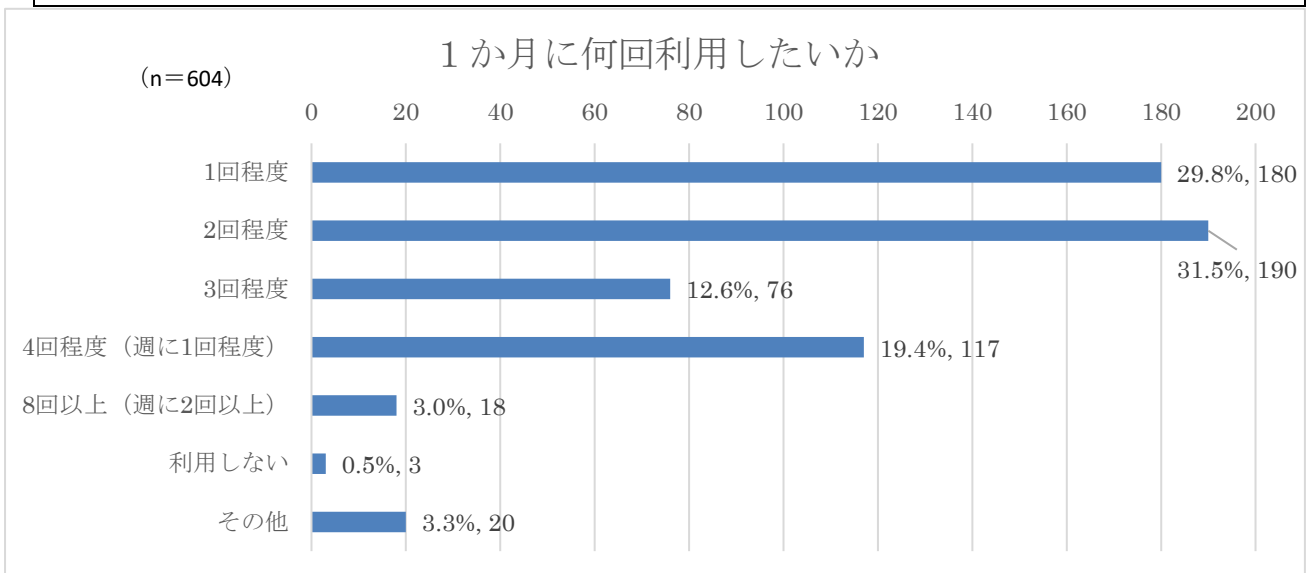
【その他（抜粋）】

施設やその時の状況に応じて滞在時間は変わるという回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- その日の予定と気分による
- 施設内の状況により滞在時間は変わる

Q16 1か月にどのくらいの回数利用したいですか。



【その他（抜粋）】

年数回の利用や施設の内容に応じてという回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- 年に数回
- 施設の内容による

Q17 その他、ご意見がございましたらご記入ください。

【その他（抜粋）】

●子どもの居場所、のびのびと過ごせる空間

静寂が求められる従来の図書館とは異なり、声を出したり体を動かしたりしても受け入れられるのびのびと過ごせる空間を求める回答がありました。また、子どもが安心して利用できる居場所を求める回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- ・子供がのびのび自由に過ごせる場所が少なく感じています。多少のドタバタを寛容に受け入れてくれる施設であって欲しいなと思います。
- ・通常の京都市図書館では、声を出しにくいので、子どもと一緒に話をしながら本を読む環境があるといい。しかし、静かに集中して読みたい子もいるので、音も含めてゾーン分けをして、対応できたらいいと思う。
- ・夏場に子供を連れて利用できる施設が少なく困っています。幼児の利用しやすい施設が増えるとありがたいです。

●京都市民が利用できるようにすること、予約制のあり方

観光客による過密状態を懸念し、予約制とすることや京都市民が利用できるよう配慮することを求める回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- ・混雑を避けるために、他の館と同様に事前予約制としてほしい。
- ・京都市民が優先されるようなくみをしてもらえると、利用頻度も増え、利用しやすいと思いました。
- ・地域の子どもや住民が日常的に安心して利用できる環境が維持されることを大切にしてほしい。

●多種多様なイベント・ワークショップ

本を読むだけでなく、学びの共有や交流、地域の学校やボランティア、専門家と連携したイベント・ワークショップを期待する回答がありました。また、様々な世代の方へ向けたイベント・ワークショップを期待する回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- ・電子化で本を読むことが少なくなっている子どもたちのため、自由勉強や研究発表の場として、市内の小学校・中学校と連携した学習の場であってほしい。
- ・音楽やリズム遊びなど、音を楽しめる活動を通じ、まだ本に馴染みのない乳幼児にとっても「心地よい空間」を感じられるアプローチが欲しい。
- ・保護者向けに「読み聞かせ教室」や「文化サロン」を催すなど、応募制で地域の人々が関わるワークショップを開催してほしい。

●利用者の状況に寄り添った機能

授乳スペースの配置やバリアフリー、飲食についてなど、利用者の様々な状況により添った機能を求める回答がありました。

（寄せられた回答の例）

- ・授乳室は十分な数必要になると思います。上の子のために遊びに来たものの、下の子の授乳や世話

が発生するので、上の子どもと一緒に入れる授乳室があると良いです。

- ・障害の有無にかかわらず、多世代が理解し支え合える、真の意味でのバリアフリーを実現してほしい。
- ・ご飯の持ち込みはなかなか図書を扱われるので難しいかもですが、どこでもじゃなくてよいので食べれる場所があると子連れはありがたいです。

●地域コミュニティとの関わり

地域の幼稚園・自治会館としての歴史を持つ施設であることを踏まえ、今後も地域活動の拠点として利用できるよう求める回答がありました。また、イベント等での地域との連携を希望する回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・明倫小学校が芸術センターとして残り、その向かいに在る幼稚園がまた、子どもの図書館として残ることはこの地域の貴重な文化的シンボルとして大変重要な事だと思うし、嬉しい事だと思っています。
- ・これまでの地域の活動を否定するのではなく、本の森という新しい役割を加えながら、共存できる仕組み作りをお願いしたい。
- ・高齢者が憩う場や自治会館機能が失われることを懸念している。子どものためだけでなく、人生100年時代に対応した多世代利用が必要だ。
- ・祇園祭の囃子や準備の指導など、明倫学区の持つ伝統文化を子どもたちに伝える場所として、地域の専門家を活かしてほしい。

●開館への懸念等

場所の選定、周辺部との格差、運用などについての懸念を表す回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・京都の公共施設が中京区など中心部に集中しており、周辺部の居住者には不公平感がある。
- ・近隣が混雑することへの配慮を。
- ・施設の運用において大人の価値観を押し付けることがないか懸念する。

●その他

多世代の方々が利用できる施設とすることや多世代からの意見を取り入れること、開館への期待についての回答がありました。

(寄せられた回答の例)

- ・子どもだけでなく、どの世代にもどんな方でも幅広く利用できる施設が望ましい。
- ・子どもと安心して行ける遊び場や居場所作りはとても大切だと感じています。
- ・素晴らしい計画だと思います。すでに出来ている大阪や神戸の施設がうらやましかったので、京都に出来るのがとても嬉しいです。
- ・近隣住民です。図書館のない学区ですので楽しみにしております、人生を豊かにする学び溢れる場所になる事を期待しております。